

弁護士には一方ならずお世話になり、後援会長もお引き受けしていただいております。そして時にはちょっと学校へ行けなくなった高校生や仕事に行き詰まった若者がハネを休めにボランティアとして来たり、そんな場所にもなっております。

今「工房・虹と夢」は馬主協会からの寄附を元に、日乃出町に待望の新工房を建設中で4月からは気持ちも新たにそこで活動する事になっています。新工房では、リサイクル・粉石けんの製造・パック・販売やコンブのパック販売、バザーやフリーマーケットへの参加、文化面では各イベントやコンサート講演会などへの積極的参加、ワープロ文書作成、パソコン入力、編集など今まで通りの活動の他、新しく手作りパン・クッキーも製造することになっています。

みんなで力を合わせて一日も早く夢を実現させたいものと頑張っておりますので、今日のこの縁を機会に是非、私達「工房・虹と夢」の事を分かっただけ、それぞれのお立場で後援して下さいます事をお願いしまして、つたないお話を終わらせて頂きます。本日はありがとうございました。

◎ 出席報告

会 員 数	66名	出 席 率	函 館 北	3月4日	84.38%
出 席	47名		函 館 東	3月3日	91.75%
欠 席	19名		函 館	2月26日	88.07%
他クラブ出席	7名		函館五稜郭	2月27日	100.00%
出席合計	54名		函館亀田	3月2日	84.91%
除 外 者	2名				

次回・4月1日
プログラム

「函館の歴史的風土を守る会の活動について」

函館歴風会 会長 浜島 国四郎 氏



The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

クレン・W・キンロス 1997~98年度 国際ロータリー会長テーマ

ロータリーの心

Show Rotary Cares

中川洲平会長テーマ『ロータリーは楽しく、そしてハーモニーの心を。』



3月25日 ゲスト 吉岡 直道 氏

《第1675回例会》 第37号 4月1日(水)

本日のプログラム

「函館の歴史的風土を守る会の活動について」

函館歴風会 会長 浜島 国四郎 氏

★会 長 中川洲平

★幹 事 小池凌一

例会場：函館国際ホテル 〒040 函館市大手町5-10 TEL 23-5151
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務所：函館市大手町5-10 二チロビル3階 23-3870

1997～1998 <第1674回例会> 第 36 号

3月25日の記録

◎司 会 中川 洲平 会長 ◎斉 唱 我等の生業

◎ゲ ス ト 吉岡 直道 氏

◎ビジター 函館R.C. 外崎静二君・神田勝美君・森川順治会員、函館東R.C. 鎌田 剛 博君、函館五稜郭R.C. 西村憲人君

◎会長報告 中川 洲平 会長

- 伊藤パストガバナーから国際大会参加依頼のパンフと参加者の朝食会出席のお勧めが来ております。
- 入院中でありました山本会員は、20日に退院しました。
- 先日の台北での初日の晩餐会で、永福楼のメニューに全員でサインをしました。加藤会員が持ってきたので回覧します。

◎幹事報告 小池 凌一 幹事

- 地区大会の表彰の部を確認します。出席率100%20年；三沢会員、ポール・ハリス・フェロー；藪下会員、マルチプルポール・ハリス・フェロー；新 会員、伊藤元会員、小笠原会員、金子会員、米山功労者；中川 会長、以上です。

◎親睦活動委員会 小林 裕幸 委員

ニコニコBOX投入報告

- 中川 会長……暖かくなってまいりました。
- 新 会員……台湾に行って参りました。

金子 会員……春めいてきました。

小笠原会員……目を開いてご覧下さい。店先の果物がおいしそうです。

小池 幹事……孫が誕生して100日です。

斎藤 会員……怖そうな面々が坐っていました。

西尾 会員……BOXに協力。

鈴木 会員……最近、例会に欠席がちでしたので。

森(秀) 会員……BOXに協力。

田守 会員……目が合いました。

久保 会員……議会、無事終わりました。

南木 会員……昨日、道新にきれいに写っていました。

◎クラブ奉仕委員会 新 博夫 委員長

- 次期ガバナーから文書が来ており、来年度の国際ロータリーのテーマは「ロータリーの夢を追い続けよう」です。

◎卓話「はこだて元町チャーチ・フェスティバル88回の歩み」 吉岡 直道 氏

まずはフランスの物乞いの話ですが、あるギャラリーに入ったら欲しくなる絵を見つけました。その金額が50万から100万円くらいで、所持金が150円位しかありませんでした。それを20分の1まで貯めましたが、毎日、売れていないかと心配で日参していましたが、希望が叶い、ギャラリー、画家と相談して20分の1の額で手に入れました。以上はこれからの話の前段です。

私の略歴から紹介しますと、私は物心ついたころから母が元町の聖ヨハネ教会オルガンを保守しており、讃美歌を歌っている環境で育ちました。大学時代は20歳過ぎに、たまたま商業写真のアルバイトを見つけました。これがきっかけとなり、最初はノーギャラのライトマンから始まりましたが、3年間勤めていました。そうこうしているうちに、25歳の時

に父が帰ってこいとのことで戻ることになりましたが、どうせ戻るならと、ヨーロッパ8ヶ月の旅をすることとし、横浜からナホトカに行って、その後汽車でモスクワ、ストックホルムに行き、南下しました。休息する際に教会に寄りましたが、小さな村でも大きな町でもコンサートをやっていました。その時に函館の元町にも教会がありますので、何かヒントになるのかなあと思いました。

3年後、2度目の旅行を70歳の父と一緒に行いました。父は写真の原点はレンブラントだと思込んでおりましたので、見せてあげたいと思ったことによるものですが、翌年からコンサートを始めております。

本題ですが、最初は入場料300円で始めました。当時は赤字が出たら自分の財布から払えば良いと思っていました。その時はプロ、アマともノーギャラでお願いしておりましたが、ノーギャラほど後で高くつくことを経験しました。プロには非常に申し訳ございませんし、ノーギャラということでスケジュールがころころ変わり大変困りました。今は、入場料は1,000円とし、ギャラも財布と相談しながら決定しています。

1回目は、当時の札幌フルート奏者の細川順三さん（現在N響）で、彼はヨーロッパの教会でフルート演奏した経験があるとのことで意気投合しました。その後エピソードがありまして、もし、50回続けていたら、その時はもう一度彼を呼びたいと考えておりました。50回目は、N響の岡崎耕治さん、オルガンの湯口依子さんも呼んでおり、昼2時から演奏を予定していました。ところが、函館空港が霧で欠航し千歳着となりました。しかし、演奏はしたいとのことでお客様には7時まで待ってもらい、岡崎さんを迎えに行きました。岡崎さんは、まさか大勢のお客様が待っていると知らなかったもので、教会に着いて開口一番「いやいや、遅れて申し訳ない。今日は、まー、リハーサルみたいなものですね」と入ってきたものだから、お客様が100人位びっしりと入っていたのを見て非常に感激していました。

45回のコンサートでは、札幌でコンチェルトをひきに来たピアニストのモック・デュフィルさんが演奏を終わって翌日、函館でやりたいとのことで、ピアノの夕べで予定していましたが、ご主人のチェロ奏者ジェイ・ハムストンさんと交渉したら「そうゆう趣旨であるなら、私もやりましょう」となり、急速「チェロとピアノの夕べ」となりました。この時も感激しました。

一方、悲しい話もありまして、25回目のコンサートですが、砂の器の作曲者菅野光明さんについていた歌手を呼んだとき、たまたま、来たときには菅野光明さんがガンで亡くなられたばかりでした。シャンソン第1部はパリの歴史、第2部は愛と死で歌いましたが、夏なのにもものすごく寒い日でしたが、2週間後に彼女が菅野さんの後追い自殺をしました。その時にプログラムを見てなぜこのような内容で歌ったのかがなんとなく分かりました。

合唱団の交流でドイツに行ったときは、日本の伝統的なものを見せたく思い、佐々木元治社中を連れて行きましたが、たまたま、ワールドカップのスペイン大会をやっている6・7回コンサートをやったのですが、いつも30人から40人位しかお客さまが入っていませんでした。先方の合唱団が恐縮しておりました。すべてが終わりまして、我々はギャラを期待してはいなかったのですが、100万円くらい差し出されました。入場料も安く、入場者数もばらばらであったのに、なぜそんなにくれるのかですが、ドイツの場合、行政が補助金を出す制度、すなわちバックアップ体制ができています。驚きました。私に関連したカメラメーカーのライカ・ローライは利益の5分の1を福祉や基金に向けております。更に、美術学校や音楽学校を経営しています。実はこの理由を彼らが理想の姿を追っているものだと考えていたのですが、産業革命以後、写真というものが絵描きの仕事を奪った罪悪感で考えているようです。

これから、夏に向けて7月5日から4,5回コンサートを企画していま

す。また、シュールベルトの冬の旅をアレンジして市内の絵描きの方とコンサートをドッキングさせた企画を9月29日ベルラにて行う予定です。ぜひ、来てください。

最後に物乞いの話でもう一題。

橋の袂に毎日物乞いが立っていて、トルストイはいつも決まった額の小銭を渡しておりそれが日課でした。ある時、服を替えて小銭を持ち合わせていなかったとき、その時トルストイは「申し訳ない。今日は忘れた」と言いましたが、物乞いはトルストイの手を取り「この日を待っていた」とトルストイに言ったようです。

◎ 出席報告

会員数	66名	出席率	函館北	3月11日	85.94%
出席	39名		函館東	3月10日	89.58%
欠席	27名		函館	3月5日	88.50%
他クラブ出席	16名		函館五稜郭	3月6日	100.00%
出席合計	55名		函館亀田	3月9日	77.36%
除外者	2名				

次回・4月8日
プログラム

「最近のインドネシア よもやま話」
国際奉仕委員会



函館北ロータリークラブ会報

クレン・W・キンロス 1997~98年度 国際ロータリー会長テーマ

ロータリーの心 Show Rotary Cares

中川洲平会長テーマ 『ロータリーは楽しく、そしてハーモニーの心を。』



4月1日 ゲスト 浜島国四郎 氏

《第1676回例会》 第38号 4月8日(水)

本日のプログラム

「最近のインドネシア よもやま話」
国際奉仕委員会

★会長 中川洲平 ★幹事 小池凌一

例会場：函館国際ホテル 〒040 函館市大手町5-10 TEL 23-5151
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務所：函館市大手町5-10 二子ビル3階 23-3870